

キラリ人

御代参街道浪漫の会の皆さん



▶ 笹尾峠に建てられた道標の前で、「春日局」をイメージしたオリジナルTシャツや道標のロゴマークは、林副代表のデザイン

御代参街道を復活させようと、日野・石原から土山までの整備に取り組まれた御代参街道浪漫の会の皆さん（現在会員7名）。福本修一代表と林幹雄副代表にお話をお聞きしました。

御代参街道を歩こうとして迷ってしまったという話を聞かれた福本代表。他の市町では、すでに街道を整備し観光地として町づくりが進められている中、日野町ではほとんど手が加えられていませんでした。その現状を知り、何とかできないかと、会員の皆さんとともに、歴史ある街道を復元させ、後世に残していこうと取り組みを始められました。

町内だけではなく、東海道土山宿ともつなげるため、石原宿から土山宿までの約15kmの間に、70本の道標を整備されました。一つひとつが手作りの道標は、材木の加工もすべて会員の方々の技術で仕上げられました。一部、廃道や荒廃している箇所があり、倒木の除去や橋渡し、草刈りなど、これらもすべて皆さんだけで整備されました。企画から約8か月が経ち、街道が通る地域や賛同する方々との交流も広がっています。

取り組みには、皆さんのいろいろなアイデアが光ります。資金ゼロから始められた取り組みだったため、オリジナルTシャツの販売を始められました。「この取り組みを多くの人に知ってもらいたい」と、広報活動として力を入れておられます。

「御代参街道が通る地域の方にも、約400年の歴史があり、近江日野商人も通ったこの街道を護り、深く関心を持ってもらえたら」と福本代表。「せっかくの歴史街道が日野にあります。風情は造り残していくものです」と林副代表。

10月9日には、整備した街道を歩く「歴史街道ウォーキング」を開催される予定です。皆さんのおかげで復元したこの街道。400年前ににぎわった光景が、今、よみがえろつとしています。



▲ 街道に倒れる大木をチェーンソーで撤去する会員の方

※御代参街道…寛永17年(1640年)、春日局が上洛の途中、伊勢から多賀への参詣をするにあたって正式に整備された。東海道土山宿より笹尾峠を越え、鎌掛、石原、岡本、八日市を経て、中山道愛知川宿手前の小幡間約九里の道のり。



健康推進員

しまむら
嶋村 かよ子 さん
(小御門)

💡 ポイント 💡

一皿で、野菜もたっぷりとれるご飯メニューです。

ヘルシークッキング

ビビンバ



材料(4人分)

ほうれん草小1束、もやし200g、赤ピーマン2個、水大さじ2、牛ひき肉120g、溶けるチーズ80g、ご飯800g、コチュジャン適宜、④【塩2つまみ、こしょう少々、ごま油小さじ1】、⑤【塩1つまみ、こしょう少々、白すりごま大さじ½】、⑥【しょうゆ小さじ2、砂糖小さじ2、ごま油小さじ½、一味唐辛子少々】

作り方

- ① ほうれん草はゆでて冷水にとり、水気を絞って4cm長さに切り、④を½量混ぜる。
- ② もやしはゆでて水気をきり、残りの④を混ぜる。
- ③ 赤ピーマンはせん切りにし、分量の水とともに鍋に入れてふたをし、歯ごたえが残る程度に中火で2分程加熱する。水気をきって⑤を混ぜる。
- ④ 牛ひき肉は⑥で下味をつけ、汁気なくなるまで炒りつける。
- ⑤ 器に熱いご飯を盛ってチーズを散らし、①～④の具をきれいに盛り付け、コチュジャンを添える。

☆1人分エネルギー 541kcal
たんぱく質19.4g/脂質13.1g
食塩相当量1.3g